

川越まつり山車ロボットコンテスト 2017 講習会の報告

日時：

2017年8月19日（土）13:00～16:00

場所：

東洋大学川越キャンパス1号館3階1301教室

コンテストの概要：

川越まつり山車ロボットコンテストは、山車ロボットコンテスト実行委員会（東洋大学理工学部機械工学科の有志教員により構成）によって主催・運営されており、日本機械学会関東支部埼玉ブロックが後援しているものである。主に高校生（場合によっては中高一貫校の中学生も可）向けのロボットコンテストであり、地元の伝統文化である「川越まつり」（2016年12月にユネスコの文化遺産にも認定された）の山車（だし）をロボットで模擬するという、ユニークなロボットコンテストである。活動は、8月に行う「講習会」と、11月に行う「コンテスト（本番）」とに分かれている。

講習会の様子：

当日は、3つの高校から14名の生徒（エントリーは18名）と4名の教員が参加して講習会を行った。マイコンを使って、プログラムによりモータの回転の制御やセンサ信号の読取りを行うという基礎的なものであり、また、併せて、コンテスト参加時の注意事項やアドバイス（特にスケジューリング）についての説明があった。高校生の受講の様子を写真で示す。



図1 コンテストの概要の説明



図2 コンテストのルールの説明

（共にスクリーン左手に日本機械学会の新しい幟を掲示しているのがわかる）

付記：

1. 追加講習会の開催

追加で1つの高校から参加意思表示があり、4名の生徒（エントリーは5名）と1名の指導教員に対して、9月30日（土）に東洋大学川越キャンパス内にて同一内容の講習会を行った。

この結果、講習会を受講せずにコンテストに参加予定の高校2校を入れると、11月のコンテストでは6つの高校から30名を超えるエントリー数となる見込みである。

2. コンテストの日程と場所の変更について：

事情により、川越市・川越商工会議所が共催で行っている「かわごえ産業フェスタ」の枠組みの中でこのコンテストを開催することとした。そこで、

日程： 11月5日（日）13時～16時（前日は公開練習）

→ 11月12日（日）13時～16時（前日は公開練習）

場所： 東洋大学川越キャンパス

→ ウェスタ川越（川越駅西口徒歩5分）

と変更することとなった。

（文責：松元明弘（東洋大学））